

Higashimurayama City International Friendship Association

東村山市国際友好協会 第135号



カウフマンスタジアムで
ロイヤルズ対ナショナルズ戦を観戦

伊藤 帆乃花（高1）
Ardonファミリー

ホスト家族の温かさや文化の違いに感動し、アメリカの自由で前向きな姿勢を学んだ。視野が広がり、英語を磨いて日本と世界をつなぐ人になりたいと強く思った。

岡山 智勇（引率者）
Henrichファミリー

英語教員として派遣に参加し、現地の生きた英語や文化を学んだ。生徒の気持ちを理解し指導に生かしたい。両市の絆と多くの支援に深く感謝し、今後も国際交流に貢献していきたい。

第37回派遣生は8月3日から17日までインディペンデンス市で家族の一員となって異文化に触れる2週間を満喫しました。今回は2人の学生が2つの家庭に1週間ずつホームステイするというユニークな体験をしています。8月30日に行われた帰国報告会での感想をまとめました。

ホストファミリーの優しさが
支えてくれた2週間



Oceans of Fun

渡部 真歩（高1）
Frazierファミリー

市の派遣団員として2週間アメリカに滞在し、文化の違いや温かい交流を通じて多くを学んだ。言葉だけでなく思いやりが人をつなぐと実感し、皆に感謝している。

矢野 小百合（高1）
Seigfreid&Kramerファミリー

2つの家庭で温かく迎えられる、学校訪問や交流を通じて多くを学んだ。アメリカの明るさと優しさ、この友情を未来へ永くつなげたいと強く思った。

中嶋 龍沢（高1）
Woodsファミリー

戦争博物館で命の尊さと平和の重みを深く実感した。今回学んだことを胸に、世界平和に貢献できる人になりたい。

永井 茉莉歌（高1）
Morelandファミリー

ミズーリ州で多くの人と出会い、文化の違いと英語の可能性を実感した。温かい交流を通じて世界の広さを知り、将来は英語で日本と世界をつなぐ架け橋になりたい。



マネー博物館



カンザスシティの
モールで昼食

河村 明実（大1）
Heimerファミリー

アメリカで文化を肌で感じ、英語力と自信を得た。失敗を恐れず挑戦し続ける大切さを学び、多くの支えに心から感謝した。今後も両市の交流発展に貢献したい。

神保 歩（高2）
Woods & DeMeyerファミリー

2つの家庭に温かく迎えられる、文化の違いを学びながら英語で交流を楽しんだ。会話や挨拶の大切さを実感し、人の温かさや多様な価値観に触れて視野が広がった。



Worlds of Fun



パン・ホーン高校



カウフマンガーデン



馬車で市内見学



上・下 空港に出迎えてくれた
ホストファミリー



ギネス博物館



フェアウェルパーティー

2025年 第37回派遣生			スケジュール
4	5	土	結団式、オリエンテーション
7	26	土	壮行会
8	3	日	日本を出発 15:15羽田空港発 (DL274)
	3	日	カンザスシティ空港着 現地時間20:41 (DL1851)
	4	月	フロンティア・トレイル博物館
	5	火	パン・ホーン高校、シカモア小学校訪問
	6	水	市長主催朝食会、吹きガラス体験、ボウリング交流会
	7	木	ワールド・オブ・ファン（遊園地）
	8	金	マネー・ミュージアム、第1次大戦博物館、ユニオンステーション
	9	土	ファミリーデー
	10	日	ファミリーデー
	11	月	カンザスシティ動物園
	12	火	消防署見学、カンザスシティ・ツアー
	13	水	バターゴルフ、ロイヤルズ試合観戦
	14	木	カウフマンガーデン、ネルソン・アトキンス美術館
	15	金	オーバーランド・パーク植物園、フェアウェルパーティー
	16	土	ファミリーデー
	17	日	カンザスシティ空港出発 現地時間朝6:00 (DL1635)
	18	月	日本に帰国 13:05羽田空港着 (DL121)
30	土		帰国報告会
11	21	金	市長表敬訪問、解団式

市民交流



姉妹都市提携は3年後には50周年を迎えます。イ市の市民と長く交流を続けている方がたくさんいます。3人の方に交流の一端を語っていただきました。

その1

徳永 泰子さん



着物を着たSharonと東村山の半被をきたDavid

インデペンデンス市 ゆかりの方々との思い出

写真は40年ほど前に我が家にホームステイをしたDavidとお母様のSharonです。一昨年、Sharonの計報という悲しい知らせと共にSNSで送られてきたものです。この写真を見る、Sharonとの思い出が甦ってきます。

ホームステイの受け入れをしたご縁で、Sharonとの文通が始まりました。我が家にステイした、Tom・David・Steveの3兄弟を育てながら、司書として働いていたSharonから届く手紙は、息子たちの日常やイ市のことがよく伝わり、毎回辞書を片手にワクワクしながら読みました。クリスマスには、イ市をモチーフにしたクッションやラグなど、手作りの素敵なプレゼントを送ってくださいました。

Sharonと直接お会いできたのは、ボストン留学中の娘と主人とイ市を訪れた時でした。イ市友好協会ゆかりの方々を招いてホームパーティーを開いてくださり、温かいおもてなしを受けたことは今も心に残っています。娘の卒業式には、今度はSharonがボストンまで駆けつけてくださいました。東部への旅は初めてだったようで、とても楽しそうだった姿を懐かしく思い出します。

その後も毎年クリスマスには、三兄弟が立派に成長した様子や、それぞれの家庭や孫たちのことなど、写真入りの手紙で事細かに知らせてくださいました。今はSNSで三兄弟や彼らの家族の元気な姿を見るのが楽しみです。90歳の私が今も世界中の友人たちと交流できるのも、Sharonとの文通やイ市の方々との交流がその機会を与えてくれたからだと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。

その2

2019年派遣生・尾崎和真さん

私たちの家族とインディペンデンス市との交流は、祖父母が参加した35年前にさかのぼります。その後、私の母も派遣生として渡米。一方ホストファミリーとして16人の派遣団員を受け入れ、国際交流は家族の中で自然なものとなっていました。

キャシーさん一家との直接的な交流が始まったのは21年前、長女のサラが私たちの家に滞在したことからです。その後、妹のオードリー、シドニーと受け

入れました。私の両親はサラとシドニーの結婚式に招待され、遠く海を越えて二人の門出を祝福しました。そして今度は私と姉がキャシーさんの家にホームステイをさせていただくことになったのです。

私が初めてキャシーさんの家を訪れたとき、英語は単語を並べるのが精一杯でした。それでも、キャシーさんは優しい笑顔で私を温かく受け入れてくれました。姉も同じようにホームステイをさせていただき、結婚式には今度はキャシーさんを招待し、人生の節目を共に祝うことができました。

キャシーさんが日本を訪れた際には、彼女が交流を深めている日本の9組の家族とパーティーを開きました。国を越えた大きな家族のような集まりに、改めてホームステイがもたらす絆の深さを実感しました。ホームステイは一時的な体験で終わりません。35年という時を経て、3世代にわたりお互いの人生の節目を共に祝い合う関係へと育っていく体験だと言えます。



姉の結婚式で 左から4人目が尾崎和真さん
右から4人目がKathyさん
3人目が妹のKristinさん

その3

2005年派遣生・櫻井 彩美さん



上：Lovewell夫妻
右：派遣生としてステイしたMoxley家の人々と

2025年7月、インディペンデンス市に遊びに行ってきました。

私が中学生のときにホストファミリーをし、同じ年に姉がホームステイをしたことが縁で家族ぐるみで仲良くしているLovewell家に滞在しました。私自身も学生派遣を含め、何回も行ったことがあるインディペンデンスですが、今回は0歳の娘と初めてのアメリカ滞在ということもあり、色々準備はしなくてはならないとありました。しかしお母さんのDebbieがベビーサークルなどの必要な物やたくさんのおもちゃを用意してくださり、安心して滞在することができました。

短い滞在で多くの人に会えるようにと、ウェルカムパーティーを企画してくださり、我が家に

滞在した歴代の派遣生とその家族、向こうの協会の方々などが集まってくれました。私はもちろん久しぶりの再会でしたが、インディペンデンスの方同士も10年以上ぶりの再会があったり、新しい出会いがあったりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。このパーティーを始め、滞在中すべてのサポートをしてくださったLovewell夫妻には感謝でいっぱいです。また数年後成長した娘と共に遊びに行けたらと思います。

Xmasパーティー
12月13日（土）14時～
サンパルネ2階
コンベンションホール
会員は誰でも参加OK

Let's enjoy 英会話

今年度の前期講座（4月～9月）は4月9日に始まり、全20回の講座がありました。68名の受講者中、修了者は54名、皆勤者は19名でした。

後期講座は10月8日から翌年の3月18日まで、講座は全20回の予定です。受講者76名の中で継続受講者は48名、新規受講者は28名です。講師は前期と変わリません。どの先生も明るく親切で、楽しく講座を進めています。（英会話委員会）

お知らせ

◇派遣団解団式

11月21日（金）、第37回派遣団員たちは市役所を訪問し帰国報告を行いました。報告書を提出した後、伊藤会長が解団を宣言し活動を終了しました。

◇多言語スピーチ大会

今年度も英会話教室受講者が参加する予定です。日本語教室に通う外国籍の方と子どもたち、韓国語教室や中国語教室の受講者たちが日頃の練習の成果を発表します。日時：12月14日（日）PM2時～（受付開始 PM1時半～）

編集後記

今年の学生交流も無事終了し、早くも来年の交流に向けて学生受入委員会・派遣委員会とも動き出しました。今号ではこの夏にイ市でホームステイを経験し、第2の家族を得た派遣生の感動をお伝えします。また、姉妹都市提携以来47年が経過するなか、イ市にできた縁を長く紡いでいる方々をご紹介します。

人と人



発行：東村山市国際友好協会
編集：広報委員会

東村山市本町 1-2-3
東村山市役所内
☎393-5111 内線3313
<https://www.h-ifa.com/>